



## 「あなたはわたしを愛するか？」

～上田カルバリーチャペルを愛するか？～

「そして彼は、ある人を使徒とし、ある人を預言者とし、ある人を伝道者とし、ある人を牧師、教師として、お立てになった。それは、聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。」

エペソ人への手紙4章11-13節

今日のメッセージの聖書箇所的主角は、イエス様とペテロです。ペテロは12弟子の中で最も多く名前が登場する人物です。良い面でも悪い面でも何度もイエス様との対話も多かった人物です。マタイ16章18節ではイエス様から次のように言われます。「そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。」そして、この言葉から、カトリック教会の初代教皇はペテロであるとも言われ、教会の代表者とも言われるほどの人物となりました。しかし、そんなペテロですが、そのすぐ後には、十字架にかかることを宣言されたイエス様を非難したペテロが、「サタンよ、引き下がれ！わたしの邪魔をする者だ！」と叱られてしまいます。

そして、また、イエス様が翌日には十字架にかかろうとして、弟子たちと最後の食事をしていたときに、「シモン・ペテロがイエスに言った、『主よ、どこへおいでになるのですか』。イエスは答えられた、『あなたはわたしの行くところに、今はついて来ることはできない。しかし、あとになってから、ついて来ることになる』。ペテロはイエスに言った、『主よ、なぜ、今あなたについて行くことができないのですか。あなたのためには、命も捨てます』。イエスは答えられた、『わたしのために命を捨てると言うのか。よくよくあなたに言うておく。鶏が鳴く前に、あなたはわたしを三度知らないと言うであろう』。」(ヨハネ 13 章 36-38 節)。その後、実際にペテロは三度もイエス様を否定してしまいました。人生で最も愛する人を拒絶してしまったのです。

そして、どん底に落ち込んで、決して起き上がることができないペテロに対して、今回のヨハネ21章では、特別に他の弟子たちの目の前で、「この人たちがわたしを愛する以上に、あなたはわたしを愛しますか？」と質問されました。しかも、三回も。その前に、ペテロはやっぱりイエス様のことが好きでたまらなかったのでしょう。ヨハネが「あれは主だ！」と言った瞬間に、ヨハネではなく、ペテロが真っ先に湖に飛び込んで、イエス様のもとに真直ぐに泳いでいきました。

最後に主は「わたしに従って来なさい」と言いました。それに対して、「この人はどうなんですか？」とヨハネのことを主におききしてみました。それに対して、主は「この人がどうかということあなたには関係がない。あなた自身はこの私に従って来なさい！」と積極的に励まします。その後、ペテロはどう答えたかは分かりませんが、それは読者に考えてもらおうとヨハネは思ったのかもしれませんが。私(石井潤)はイエス様にお応えしたいです。「わたしはあなたに従います!」。